

村上 慧《熱の連帯（足湯）》2024 年 / 北アルプス国際芸術祭 2024 より / 撮影 平林岳志

村上　慧 相手の土俵に立ってみる
satoshi murakami

手嶋勇気 まなざしを辿って
yuki tejima



手嶋勇気《米子城跡地からの眺望 -2026 年 3 月》2026 年 / デジタルスケッチ

米子市美術館共催展

AIR475 2026
artist in residence yonago

2026 年 12 月 26 日（土）～2027 年 1 月 11 日（月・祝）　休館日 水曜日（1/6）年末年始 (12/29-1/3)

米子市美術館 第 1・2 展示室　10:00－18:00　観覧無料

主催：AIR475（エアヨナゴ）

共催：米子市、米子市教育委員会、一般財団法人米子市文化財団 米子市美術館・米子市立山陰歴史館

協力：森谷アパート、一般社団法人 鳥取クリエイティブプラットフォーム、国立高等専門学校機構 米子工業高等専門学校 総合工学科
赤井あずみ（HOSPITALE/ 鳥取県立美術館 主任学芸員）

助成：令和 8 年度 鳥取県 地域の芸術祭等開催支援事業補助金、公益財団法人 エネルギア文化・スポーツ財団

AIR475（エアヨナゴ）は、米子市内でのアーティストの滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス・通称 AIR）を軸としたアート・プロジェクトです。2013年以来、国内外の第一線で活躍するアーティストを招き、サイトスペシフィックな作品、またその制作過程を通して、歴史、文化、風土など地域の資源を市民の皆さんと共有し、共にアートを楽しみ、地域への理解と愛着を深めることを目指しています。令和５年度米子市文化奨励賞団体の部、令和７年度（第38回）山陰地域文化賞受賞。
本展は、2025 年度より招聘しリサーチと制作を進めてきた村上慧と手嶋勇気による成果発表展です。社会のなかの小さな違和感やイメージと実体のずれを、ユーモア溢れる独特な方法で問いかける村上慧。かつての画家たちに習いつつ、デジタルツールを使い風景画の更新を試みる手嶋勇気。この機会に二人の作品をご覧いただきお楽しみください。

相手の土俵に立ってみる

言葉や道具や技術など、僕たちが常日頃から使っているすべてのものは、自分で持ちこんだものではありません。それらはすでに、そこにありました。これを使いなさいと言われて、選択した覚えもありません。でもその使いかたにはまだ、なんらかの余地があるはずです。それを探すことが僕にとっての制作であり、人生を賭けるに足るおもしろみでもあります。

村上　慧
satoshi murakami





《移住を生活する東京 2020》
2020 年 / 映像からのキャプチャ画像



《キャップ帽だったハット帽
(Hello, goodbye works)》2025 年



《村上勉強堂》2022 年～現在 / 千葉県山武市

長野県、千葉県、東京都を拠点に活動。主な展覧会に「村上慧 移住を生活する」（金沢 21 世紀美術館 /2020）、「TERRADA ART AWARD 2023」(寺田倉庫 /2024) など。著書に『家をせおって歩く かんぜん版』（福音館書店 /2019 年）『イメージと正体の調査報告』（盆地 Edition/2024 年）などがある。近年は千葉県山武市に土地を購入し、落ち葉の発酵熱や地下水の気化熱など自然現象を利用した冷暖房を開発する《村上勉強堂》計画を進めている。

まなざしを辿って

米子市美術館のコレクションを中心に米子に根差した洋画家たちの軌跡をリサーチしてきました。そのなかで特に関心を持ったのは、個人・グループ・団体、それぞれの土地との関わり方によ って生まれた風景への眼差しです。描かれた場所を探したり、その時代や経緯を想像したりしながら、この土地で生まれた絵画を通して米子に蓄積された視点をたどりました。
描かれた風景と現在の風景を重ね、「見つめること / 描くこと」を軸にこの街の風景を描きなおします。

手嶋勇気
yuki tejima



KASHIMA 2024 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE
撮影：Tomohiro Hanada
© BEPPU PROJECT



広島市現代美術館コレクション展 2024-Ⅰ ハイライト＋リレーションズ
［ゲストアーティスト：手嶋勇気］撮影：伊東良隆



KASHIMA 2024 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE
撮影：久保貴史
© BEPPU PROJECT

1989 年、北海道生まれ。写実絵画の技法研究と制作を経て、即興的でドローイングのような絵画を制作する。近年は、過去の画家たちの活動や絵画をもとに風景を描いており、それは作家自身がその土地の歴史や営みとどう関わるのかを模索する試みである。
主な展覧会に「コレクション展 2024-Ⅰ ハイライト＋リレーションズ［ゲストアーティスト：手嶋勇気］」(広島市現代美術館 / 2024)、「ひろしまスケッチ vol.3」（エビデンギャラリー [広島] / 2022 / 主催：広島市現代美術館）など。アーティスト・イン・レジデンスに「KASHIMA 2024」（BEPPU PUROJECT[大分] / 2024）など

【パブリックプログラム】　どなたでも参加できます。すべて参加費無料　最新情報をAIR475 facebook 等でご確認のうえご参加ください。

□開会式
日時：12 月26 日（土）9:30～
場所：米子市美術館1 階ホール

□アーティストによるギャラリートーク
本展覧会の作品について、アーティスト本人が解説します。
日時：12 月26 日（土）10:00 頃～11:00
場所：米子市美術館 第1・2 展示室

□村上 慧・手嶋勇気 アーティスト・トーク
Email で要申込。info@air475.com
招聘アーティストのお二人に、米子で制作された作品のこと、ご自身の活動のこと、地域とアートについてお話を伺います。
日時：12 月26 日（土）18:30～
場所：米子市美術館1 階ホール
定員：50 名

□手嶋勇気 まち歩き＋スケッチ会 「かこう会」
Email で要申込。info@air475.com
まち歩きを楽しみながら、手嶋さんと同じスマートフォンアプリを使い、米子の風景をスケッチしましょう。
まち歩きの後、スケッチを皆でみながら話してみましょう。
定員：各回 8 名 対象：中学生以上
11/1 より申込開始　先着順
各回時間：12:30～16:30

・加茂川コース　11月15日（日）
集合場所：岩倉ふらっと
・米子城山コース　11月21日（土）
集合場所：米子市児童文化センター研修室
・朝日町コース　11月23日（月・祝）
集合場所：米子市美術館 2 階 第5展示室

※雨天の場合は室内でスケッチします。
※スマートフォンまたはタブレットを持参ください。
事前に「Adobe Fresco®」をインストールください。

□村上 慧 ワークショップ 「チラシから言葉を剥がす」
Email で要申込。info@air475.com
スーパーやイベントなどのチラシから言葉を選び、大きな半紙に太い筆で書きます。それを皆さんの署名入りで展示しませんか？
世の中は言葉に溢れています。しかし、私たちはどこまで言葉として捉えているでしょうか？
大きな文字を書きたい方、久々に書道をしてみたい方、広告というものが気になっている方、言葉について考えてみたい方、どなたでもどうぞお気軽にご参加ください。
日時：12 月13 日（日）第1 回　10:00～12:00
第2 回　14:00～16:00
定員：各回10 名
11/1 より申込開始　先着順
場所：明道公民館 2 階 第2 研修室



米子市美術館にご来館の際は米子市役所有料駐車場をご利用いただけます。
２時間まで無料処理をいたしますので美術館受付までお持ちください。
※美術館横に身体障がい者用、ハートフル駐車場を用意しています。

お問い合せ・申込先
AIR475事務局
E-mail：info@air475.com
〒683-0845 米子市旗ヶ崎9-21-22
Phone: 090-7810-1347 (来間)

展覧会・イベント会場
米子市美術館
〒683-0822 鳥取県米子市中町 12

岩倉ふらっと
〒683-0833 鳥取県米子市岩倉町 52
米子市児童文化センター
〒683-0063 鳥取県米子市西町 133
明道公民館
〒683-0054 鳥取県米子市糀町 1-10

AIR475 ARTIST IN RESIDENCE YONAGO 2026

協力：TPlat